
意外な人の恋愛

餓鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意外な人の恋愛

【Nコード】

N5271Z

【作者名】

餓鬼

【あらすじ】

俺の名は姫条悠里きじょうゆうりは親の勝手な都合により婚約者を決められたその相手は白皇学院に通っているらしい。そんな物、俺には関係がなと思っていたが……あの日、俺が見たことによって俺は彼女に惹かれていった。

駄文ですがよろしくお願いします

プロローグ（前書き）

勢いでやってしまった！ てか、新刊にっていた映画を見て思い
ついた。

ブローグ

ある日俺は親からいきなり言われた。

「実はね、悠里君には婚約者が居まーす」

「へっ！」

学校から帰ってきたらそんな事を言われた。

「冗談はその妖怪じみた顔だけにしてくれよ」

冗談で言ったが俺は右頬を殴られた。

「本当よ！ でもねその子は日本に居るのよ」

俺は頬を擦りながら聞いた。

「それで、日本に行こうと」

「正解」

母さんの顔は満点の笑顔だった。

「待て！ 学校はどうするんだよ。俺はまだ、卒業してないんだぞ」
言い忘れたが俺は16歳で高校一年生だ！ だけどいろいろあつて大学に行っています。

「それにな、日本の高校に行くより。このまま大学を出てから行けばいいじゃないか」

「それはダメよ。それに、大学の方には今日までと連絡入れといったから」

俺は固まった。

「母さんは父さんを泣かしたいのか？」

「大丈夫」 さっくんなら泣いて喜んでくれるよ」

それは喜んでない！ 唯のお金が無体なくて泣くんだよ。

さっくんとは俺の父、姫条佐治莉大企業の社長だが母さんのお金の使い方には反発が出来にチキンだ。この家庭の財布を握ってるのは母、姫条由紀どこか常識が抜けている人だ。

「それで、日本に行くのは何時なんだい？」

俺は部屋の中を見ながら、呆れつつ言った。

「今からよ」

そうだと思つたよ！ 部屋の家具が何一つ無いなんて可笑しいよね。

「不幸だあ！」

俺は某魔術師に出てくる男の様に叫んだ。

この日から俺の日常が変わってしまった。そして、あの日を境に俺の中の何かが変わって行つた……そう、春風千春との出会いによって。

同時刻日本

「実は千春ちゃんに婚約者がいます」

夕飯の時間に母から告げられた言葉に固まってしまった私。

「何かの冗談ですか」

私は何かの冗談だと思い聞き流そうとしたが

「本当よ、その人達とは学生の時に約束したのよ」「子供が生まれたらその二人を結婚させないと」「そしたらOKくれたのよ」

なんで簡単に承諾したんだ。

「それでね。近々白皇に通うらしいの」

「それで、私にどうしろと」

「頼んだわね。千春ちゃん」

この日、私の日常が崩壊した。でも、あの日の出来後でこうなるとは思はなかった……そう、姫条悠里との出会いによって。

私（俺）が恋を知るなんて思いもしなかった。

プロローグ（後書き）

後悔はしない、完結まで持っていく！

キャラ設定

名前：姫条 悠里きじょう ゆうり

性別：男

容姿：上の中

好きな物：小説ラノベ、ゲーム、勉強

嫌いな物：自分を嫌な目で見る人、運動

髪の毛は黒、背は170後半だ。

学力が高いため16歳で大学まで行くが母の勝手な理由により辞める。そして日本に渡る。アメリカではその頭脳のせいで友達がない一人で勉強をしている寂しい人間だ。それでも、日本にはたくさん知人がいる。それは三千院家、愛沢家、鷺ノ宮家、橘家といった人たちと仲がいいが兄的存在として見られている。

恋愛に関しては知識がゼロなので同世代の女子と話をするとテンパってしまう。

頭が良いのは天然な母を見てこうなりたくないと思い勉強を始めると小学生のころには高校並の頭脳になっており、誰もが認める天才だったが本人は天才と言われるのが嫌いだった。自分を見てくる同世代の目は自分を寄せ付けなかった、自分を差別していた。その為、日本ではなく国外で過ごしていたがどこに居ても同じような扱いを受けていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5271z/>

意外な人の恋愛

2011年12月17日22時45分発行